



山や草むらでの野外活動の際は、マダニに注意しましょう

マダニ に注意！！



【マダニが媒介する感染症】ライム病、回帰熱、ダニ媒介脳炎など

マダニに咬まれないポイント



●肌の露出を少なくする

- ▶ 長袖・長ズボン、登山用のスパッツ等を着用する
- ▶ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ▶ 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- ▶ 足を完全に覆う靴を履く（サンダルなどは避ける）

●明るい色の服を着る

●虫除け剤を使用する

- ▶ 野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意しましょう。

マダニに咬まれたときの対処法



- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの抜去、洗浄など）をしてもらいましょう。

- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師に伝えること

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



北海道

ダニ媒介感染症対策



今できる、マダニ感染症対策

北海道

ダニ媒介感染症対策



マダニから身を守るために

詳しくは

北海道 ダニ

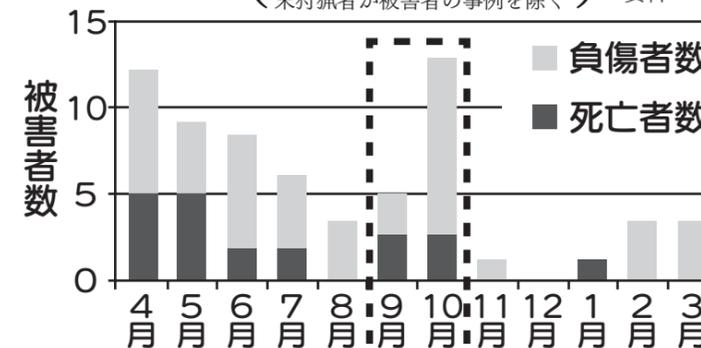
検索



秋はヒグマに注意

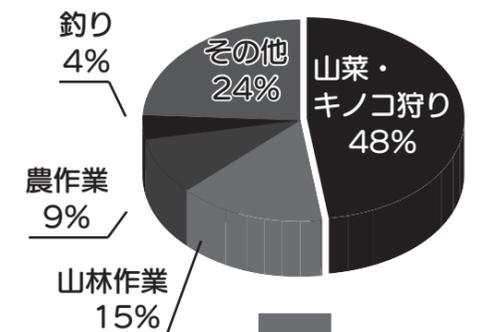
発生月別のヒグマによる人身被害者数

（平成元年度～令和6年7月の合計）※道統計資料
（未狩猟者が被害者の事例を除く）



被害発生時の被害者の活動

（平成元年度～令和6年7月の合計）※道統計資料
（未狩猟者が被害者の事例を除く）



人身被害は春と秋に多く発生

被害の1/2は山菜・キノコ狩りで発生

秋のヒグマ注意特別期間

令和6年 9月1日(日)～10月31日(木)

あなたが被害者にならない一番の方法は

ヒグマに遭わないことです

- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- 一人では野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 薄暗いときには行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す



出没情報は
こちら

※人里周辺でクマを目撃した時は、役場または警察にご連絡ください。

問い合わせ先 林政係 18番窓口 ☎ 77-8386、津別交番 ☎ 76-2610